

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者福祉センター指定管理者事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	小西 和典			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	社会参加を望む障害者	意図	在宅の障害者の社会参加を促進させる。
事業内容	各種講座及び機能回復訓練に参加することで、社会的に自立し、生き生きとした生活を送れる。			
事業開始から現在までの状況変化	当初は、身体障害者を中心として強い要望により機能回復訓練がスタートしたが、現在は、この他に社会適用訓練や創作講座等幅広い内容で事業を実施している。平成23年度から指定管理者が事業運営を行い、障害者の範囲を他の障害者も利用できるよう拡大した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	機能訓練延べ参加数	2,093	2,449	2,304	人	↑↑↑
②	創作活動延べ参加数	958	1,081	1,014	人	↑↑↑	
③	社会対応訓練延べ参加数	253	280	261	人	↑↑↑	
④	養成講座延べ参加数	0	3,608	3,003	人	↑↑↑	
⑤	その他	4,678	1,712	1,677	人	↑↑↑	
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	36,048,950	36,237,360	36,233,760
事業費(b)(円)	35,843,000	36,036,000	36,036,000
うち一般財源	35,843,000	36,036,000	36,036,000
職員給与と費(c)(円)	205,950	201,360	197,760
人役・職員(人)	0.03	0.03	0.03
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

指定管理者制度で事業の運営を行っている。事業内容として、年間計画に基づき、機能訓練（理学療法、作業療法、音楽療法、言語療法）、創作活動（手芸、カラオケ、料理）、社会適応訓練（点字、パソコン）、養成講座（点訳、手話、要約筆記）等について多種多様にサービスが展開されている。とりわけ、送迎業務を行い利用者の利便を図っていること、多くの自主講座を実施し、取り組んでいる。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	全ての障害者（三障害）が利用できることにより、利用者の希望に沿った講座や療法を実施。	③取組における課題(Check)	さらなる利用者の希望に沿った講座や療法の導入を検討する。
②H30に実施した取組(Do)	機能訓練、創作活動など10種類以上の講座を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	利用者の希望を聞きながら、利用者のニーズに沿える事業展開を実施していく。